

質問に対する回答について

件名	秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事
----	--------------------

番号	対象ファイル名等	対象ページ	質 問 事 項	回 答
1	①割掛対象表参考内訳書	①4頁	工事用電力費において、連続ベルトコンベヤ設備を見込んだ総設備負荷合計容量をご教示願います。	連続ベルトコンベヤ設備を見込んだ総設備負荷は、特記仕様書11-2に記載のとおりとなります。
2	①設計図【参考図：トンネル】	①30/34頁	施工次第図（機械掘削：補助ベンチ付全断面掘削工法）を見ると軟岩トンネル掘進機が300kW級となっており、一般的な200kW級とはビットの規格が異なります。土木工事等単価ファイル「ビット 軟岩トンネル掘進機用 A 又は B」と実勢価格との乖離が大きいと考えます。これに関しては、契約締結後の協議事項と考えてよろしいでしょうか。	契約締結後の協議にはなりません。
3	①設計図【参考図：トンネル】	①30/34頁	軟岩トンネル掘進機が300kW級について、地山等級毎のビット損耗（個/m3）をご教示願います。	閲覧資料02_設計報告書（トンネル）6-72ページをご確認ください。
4	①割掛対象表参考内訳書	①1頁	工事用機械分解組立費（トンネル工事分）に避難連絡坑で使用するコンクリート吹付機（6～22m3級一体型、トンネル工事用排出ガス対策型、第二次基準値）1台－4往復が計上されておられません。契約締結後の協議事項と考えてよろしいでしょうか。	割掛対象表参考内訳書についてはお答えできません。 なお、交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。
5	①設計図【参考図：トンネル】	①29～30/34頁	インバート掘削の施工機械が土木工事積算基準と異なり、油圧式大型ブレイカ1300kg級とバックホウ油圧式クローラ型0.4m3級ではなく、油圧式大型ブレイカ800kg級とバックホウ油圧式クローラ型0.35m3級となっております。この場合の削岩能力、積込み能力、削岩時間、積込み時間、チゼルの損耗量をご教示願います。	インバート掘削の施工機械に誤りがありました。正しくは土木工事積算基準に記載の機械構成のとおりとなります。 なお、交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。

6			爆破掘削に伴うインバート掘削は地山等級C又は地山等級D、機械掘削に伴うインバート掘削は第3紀層の地山等級C又は第3紀層の地山等級Dと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
7	①設計図【参考図：トンネル】 ②特記仕様書	①31/34～32/34頁 ②41頁	CⅡ-c-B3-S及びCⅡ(H)-j-B3-Sにおける制御発破配置図を示して頂いてありますが、CⅠ-a(H)-B2も「制御発破：DS段発電気雷管方式」で計画されております。これについても参考図を示して頂けないでしょうか。	参考図については、交付図書にて後日お示しいたします。
8	①設計図【参考図：トンネル】	①34/34頁	本坑及び避難連絡坑の掘削に伴い、既設避難坑等の取壊しが発生しますが、「コンクリートの取壊し数量、鋼製支保工の撤去数量、補強鉄筋や溶接金網の有無等」の条件が不明です。後日数量が示されると考えてよろしいでしょうか。 また、これらの処分に関わる費用は、トンネル掘削に含めると考えてよろしいでしょうか。	06_7 設計図【参考図：トンネル】の既設(避難坑・避難連絡坑)取壊し標準断面図より数量を算出してください。 なお、交付図書については後日訂正いたします。 また、処分に関わる費用については、令和8年9月1日掲載の「質問書に関する回答について㊥」質問番号7に対する回答のとおりです。
9	①設計図【トンネル：本坑】	①56/135頁	DⅢa-3(H)-Kの鏡吹付けコンクリート材料表の形状寸法に「t=100」と記載されていますが、「トンネル掘削 DⅢa-(H)-K」で鏡吹付けコンクリートを「t=50」の費用を計上し、「長尺鋼管先受け工 打設工 B」でも鏡吹付けコンクリートを「t=50」の費用を計上することで、「t=100」を見込んでいると考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
10	①特記仕様書	①65～66頁	「長尺鋼管先受け工 打設工 A 及び注入工 A」は、昼夜2交替施工が可能であると考えてよろしいでしょうか。	可能です。
11	①特記仕様書	①76頁	詳細分析試験の溶出量試験及び含有量試験に「水銀」の項目がありますが、「アルキル水銀」は対象外と考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
12	①設計図【参考図：トンネル】	①10/34頁	CⅡ-c-B3-Sの加背割図が示されておりません。CⅡ-c-B-Sと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。 なお、交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。

13	①設計図【参考図：トンネル】	①10/34頁 及び32/34頁	CⅡ(H)-j-B3-Sの加背割図で示されている設計断面積が16.760m ² となっていますが、CⅡ(H)-j-B3-Sの制御発破配置図では、断面積が17.1m ² と記載されています。断面積は加背割図が正しく、装薬量及び孔数に変わりはないと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。 なお、交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。
14	①特記仕様書	①37頁	A1-3(T)の使用区分は坑門工のコンクリートと記載されていますが、繊維は含まないと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
15	①設計図【参考図：トンネル】	①掲載無し	割岩工法の穿孔パターン図をご開示願います。	穿孔パターン図については、交付図書にて後日お示しいたします。
16	①割掛対象表参考内訳書	①5頁	工事用電力費の数量内訳（参考）に「契約電力量 802kW」と記載されていますが、これにはベルトコンベア稼働に伴う電力も考慮されていると考えてよろしいでしょうか。	質問番号1のとおりで。
17	①割掛対象表参考内訳書	①4頁	インバート栈橋設備費の数量内訳（参考）に「材料費は全損扱い」と記載されていますが、使用後は自由処分と理解して良いですか。また、これに伴う運搬費はこの項目に含まれると考えてよろしいでしょうか。	割掛対象表参考内訳書についてはお答えできません。 なお、交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。
18	①特記仕様書	①62頁	28-14 工事用道路整備工において「P(Po-B)・φD」の区分内容に「砂（購入品（中古品））にて間詰めを行うもの」と記載されています。砂は購入材と考えてよろしいでしょうか。	令和8年9月1日掲載の「質問書に関する回答について⑤」質問番号12に対する回答のとおりで。
19	①設計図【参考図：トンネル】	①1/34頁	工事工程表を見ると覆工コンクリートの月進が全区間95m/月で計画されていますが、非常駐車帯区間のセトルは6mであるため、54m/月になると思われますが如何でしょうか。	そのとおりです。
20	①参考積算条件書（その1） ②特記仕様書	①3頁 ②75～77頁	4週8休の補正が週単位となっておりますが、先行ボーリングも対象であり、土日の作業は基本的に出来ないと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。

21	①設計図【参考図：トンネル】 ②特記仕様書	①1/34頁 ②75～77頁	工事工程表を見ると先行ボーリング100mを準備・後片付けを含めて0.1月で施工すると読み取れます。0.1月×21日/月＝2.1日で完了する計画で、費用を計上すればよろしいでしょうか。	そのとおりです。
22	①設計図【参考図：トンネル】 ②設計図【トンネル：本坑】	①1/34頁 ②112/135頁	工事工程表を示して頂いておりますが、先行ボーリング1回当り0.1ヶ月を見込んでいと読み取れます。ボーリングがトンネル掘削中27回施工することに伴い、2.7ヶ月掘削が休止することになり、機械の供用損料が発生します。この費用は、どの項目に含めれば良いでしょうか。	トンネル掘削の各単価に含まれているものとお考え下さい。 なお、交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。
23	①割掛対象表参考内訳書	①1頁	工事用機械運搬費（トンネル工事分）の数量内訳（参考）に「ホイールローダサイドダンプ 3.0m3級-24 t -1台-6往復」とありますが、1往復と思われますが如何でしょうか。	割掛対象表参考内訳書に関する質問にはお答えできません。 なお、交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。
24			既設避難坑の取壊しを伴うため、鏡吹付を必要としないC I パターンにおいても坑外仮置場での積込み作業時にコンクリート塊の分別作業を担当する補助労務費を見込んでいと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
25	参考積算条件書（その1）	3項	土木工事積算基準適用年度が「令和7年度版」とされていますが、令和8年7月に一部改正された標準図集等については適用せず、令和7年度版の内容を参照するとの認識でよろしいでしょうか。	参考積算条件書に記載のとおりで。
26	契約図書 図面	岩沢工事用道路① 平面図	地下排水工 D u - 0 . 3 0 ・ 0 . 3 0 につきまして、単位数量計算書をご提示願います。	単位数量は0.09m3です。 なお、交付図書については後日訂正いたします。
27	契約図書 図面	記号説明表	用排水工詳細図において、規格の詳細が一部記載されておりませんが、標準図集を引用するものと考えてよろしいでしょうか。また、その場合は記号説明表に標準図集No.を明示願います。 あわせて、排水構造物関係の標準図集参照箇所についても、すべて参照先を明示願います。	交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。
28	特記仕様書	28-7	簡易舗装工には、瀝青材散布を含むかご教示願います。	共通仕様書18-5-5支払（2）をご確認ください。

29	契約図書 図面	用・排水工詳細図(1)	沈砂池工の積算条件について、下記内容をご教示願います。 ・維持管理の実施期間 ・水替え費の計上有無と有の場合の水中ポンプの規格。 ・土砂等の仮置き場の位置・範囲 ・不整地運搬車の使用有無 ・コンクリートシール工の型枠使用の有無及び、基面整正の有無。	沈砂池の維持管理の実施期間は貴社の施工計画に基づき、ずりの仮置き期間にてお考え下さい。 水替え費の計上は無しとお考え下さい。 土砂等の仮置き場は岩沢本線外仮置き場となります。 不整地運搬車の使用については、貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 コンクリートシール工の型枠の使用については、貴社の施工計画に基づきお考え下さい。なお、基面整正については必要となります。
30	特記仕様書	28-14	工事用道路整備工A1,A2について、敷鉄板運搬費の積算においては、仮設材等運搬費として共通仮設費へ計上するのではなく、直接工事費へ計上するものと考えておりますが、ご教示願います。あわせて、運搬基地は岩手県庁を採用するものと考えておりますが、相違ないでしょうか。	積算に関する内容についてはお答えできません。
31	特記仕様書	28-14	工事用道路整備工A1及びA2において、敷鉄板については設置費のみを計上し、撤去費用は見込まないと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
32	特記仕様書	28-21	仮設防護柵について、設置費用のみを見込み、撤去費用は計上しないと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
33	契約図書 図面	横断図	土工横断図について、STA.48+65の横断図をご提示願います。	06_7 設計図【参考図：トンネル】122/135をご確認ください。

34	契約図書 図面	岩沢工事用道路① 平面図	道路掘削附帯工につきまして、 岩沢工事用道路①および岩沢工事用道路②-1において路体盛土の施工が計画されているものと理解しております。 岩沢工事用道路②-1については、設計成果品と同等の数量が図面数量表に記載されておりますが、岩沢工事用道路①については、「岩沢工事用道路① 平面図数量表」に路体盛土数量の記載が見当たりません。 つきましては、岩沢工事用道路①における路体盛土の施工有無についてご教示願います。 また、施工対象である場合は、数量表へ当該施工数量をご提示いただきますようお願いいたします。	特記仕様書28-2-1道路掘削及び28-2-3盛土工に記載のとおり岩沢工事用道路①への路体盛土施工が必要です。 なお、交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。
----	---------	--------------	--	--